

赤ちゃんをむし歯にさせないためにお母さんと周りの大人ができること

周りの大人のお口の中のむし歯菌を減らすことが  
赤ちゃんのむし歯予防になります。

妊娠中

きちんと歯みがきを  
しましょう

キシリトールの摂り方  
(ガム・タブレット等)

歯科医院で定期的に  
クリーニングを受けましょう



キシリトールは甘味料の一種です。効果的にとるにはキシリトール 100%ガムの場合は1回1gを1日5回、5~10分位噛むようにしましょう。



生まれてから

ミュータンス菌は、お母さんなどの唾液をとおして赤ちゃんに伝わります。

1歳6カ月頃~2歳7カ月頃までが一番感染しやすい時期です。

食べ物の口移しはやめましょう

食べものをフーフーする



ミュータンス菌は空気感染しません!

スキンシップ

同じスポンジで食器を洗う



歯科検診  
に通って

守ろう! 大切な歯

3~4カ月ごとに定期健診を受け乳歯のむし歯を予防しましょう。

歯が生える前の来院

お子さんが歯磨き嫌いにならない、歯が生える前から歯ブラシに慣れさせる指導を受けておきましょう。

成長時期によって定期健診でチェックするポイントは変わります。  
歯の成長ごとに歯科医院で指導を受けることが大切です!

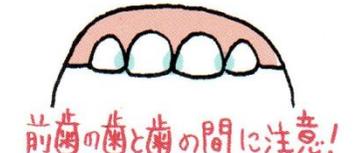
1歳ごろの来院

1歳6カ月ごろは、上の前歯がむし歯になりやすい時期です。その前に歯科医院で、ケア方法、ご家庭での注意点を覚えて備えましょう。



1歳6カ月ごろの来院

2~3歳にかけては、上の前歯の歯と歯の間がむし歯になりやすい時期です。ケア方法、ご家庭での注意点を覚えてお伝えします。



2歳ごろの来院

3歳すぎには、奥歯の上と下の歯の接する面がむし歯になりやすいです。2歳ごろから歯科医院でケア方法を学んで、予防していきましょう。



3歳ごろの来院

3歳6カ月ごろには、奥歯の歯と歯の間がむし歯になりやすいです。むし歯になる前に、フロスの使いかたを歯科医院で学び備えましょう。

